

群馬県農業農村整備計画 2020

（ぐんま水土里保全整備プラン）

～豊かで成長し続ける安全安心な農業・農村づくり～

【地域計画】 令和7年度 実績

群馬県農業農村整備計画 2020 令和7年度 実績【地域計画】

中部農業事務所

【取組内容】

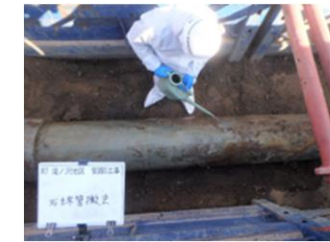
- 1 境小此木東部【伊勢崎市】及び笠張地区【渋川市】において、区画整理等工事を実施して担い手への農地集積を推進しました。
- 2 金丸地区【前橋市】において、揚水設備や建屋等の測量や調査設計を行いました。
坂東大堰2期【前橋市ほか3市1町】、大正用水3期【前橋市、伊勢崎市】、佐波新田用水第2【伊勢崎市、太田市】及び赤城大沼用水4期地区【前橋市】において、基幹農業水利施設の長寿命化対策工事0.6kmを行いました。
相馬原地区【榛東村、吉岡町】において、農業用水路の老朽化対策のための更新工事0.4（0.2）kmを行いました。
- 3 防災重点ため池において、吉沼【前橋市】ほか9（1）箇所で豪雨・地震及び劣化における詳細調査の実施を支援しました。
宮室原中【高崎市】及び滝ノ沢地区【吉岡町】において、石綿セメント管の敷設替え工事0.7（0.2）kmを行いました。
- 4 前橋市ほか2市2町1村の5,141haの農地において、農地・農業用施設の維持・保全を行う取組を支援しました。また、前橋市ほか2市1町の7地区において、活動組織の設立を支援し、新たに活動が開始されました。
農業集落排水施設において、前橋東部地区【前橋市】で最適整備構想に基づく改築・更新の実施、前橋東部2期地区【前橋市】で調査計画、荒砥北部【前橋市】及び新屋地区【前橋市】で維持管理適正化計画に基づいた対策、赤堀曲沢【伊勢崎市】及び赤堀香林地区【伊勢崎市】では維持管理適正化計画の策定を支援しました。



境小此木東部地区
【区画整理工事完了】



佐波新田用水第2地区
【対策工事後の水路】



滝ノ沢地区
【石綿管撤去状況】



グリーンネット5地区(榛東村)
【農村環境保全活動】

重 スマート農業と田んぼダムの推進にあたり、関係土地改良区等と事業化に向けた協議調整、計画策定を行いました。

※**重**：地域の重点取組

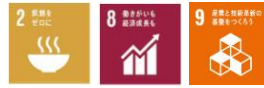
【数値目標達成状況】

数値目標	基準年	実績	上段：計画／下段：実績						目標年
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7
1 生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積【ha】	38	57	51 67	82 69	81 70	80 72	93 88	99 100	99
2 基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数【地区】	7	9	9 9	10 10	10 10	10 10	11 11	13 12	13
3 ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数【箇所】	24	27	62 50	59 59	74 74	83 83	94 94	101 99	101
4 農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積【ha】	4,468	4,200	4,288 4,290	4,651 4,648	4,648 4,513	4,748 4,709	4,822 4,700	5,345 5,141	5,345

※文中の（ ）書きは翌年度への繰越で内数

1 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

【笠張地区】



- ・笠張地区において、5.3haの区画整理を行い、収益性の高い農業生産基盤を確立しました。



区画整理実施前



区画整理実施後

- ・農産物の品質向上と収益性の高い農業生産を可能とするため、畑地かんがいを整備し、担い手の競争力と経営体質の強化を図りました。
- ・区画拡大等の耕作条件の改善を図り、担い手への農地集積を推進しました。
- ・農業生産基盤を整えることで、安定的な地域営農の持続が図られました。

2 持続的な農業用水の安定供給

【赤城大沼用水 4 期地区】



- ・赤城大沼用水4期地区において長寿命化対策工事に着手し、0.5kmの改修を行い、安定した農業用水供給機能を保全しました。



対策工事実施前



石積み護岸の崩落



対策工事実施後

- ・機能保全計画に基づいて、老朽化した農業用水路の長寿命化対策を実施したことにより、農業用水の安定した供給を図りました。
- ・農業用水路を改修したことにより、漏水やゴミの詰まりなどが解消され、維持管理労力の低減を図りました。
- ・安定した農業用水の供給を行うことで、地域営農の持続を図りました。

【取組内容】

- 1 保美地区【藤岡市】において、2・3工区の区画整理工事5.5（3.0）haを行いました。
吉田地区【富岡市】において、1工区の区画整理工事4.3（2.2）haを行いました。
小林地区【藤岡市】において、区画拡大や道水路等の整備を支援しました。
- 2 神流川用水地区【藤岡市】において、開水路補修工事0.2kmを行いました。
- 3 大谷牛秣地区【藤岡市】において、大谷池・牛秣貯水池堤体上流側の地震対策工事を行いました。
天水ため池【高崎市】において、堤体の豪雨・地震対策工事を行いました。
河振地区【甘楽町】において、地表水排除工0.02kmの地すべり対策工事を行いました。
- 4 高崎市ほか3市2町の2,650haの農地において、農地・農業用施設の維持・保全を行う取組を支援しました。
楽間行力地区【高崎市】の農業集落排水施設において、施設の調査診断を支援しました。

保美地区
【区画整理工事完成】神流川用水地区
【既設水路改修後】牛秣貯水池
【堤体上流側耐震補強
工事施工状況】鍋川水系
【国営事業推進協議協議会】

重 鍋川水系の農業水利施設において、早急な対策が必要な施設の国営事業化に向け、関係者と協議・調整を行い、事業内容、受益面積等を決定しました。

【数値目標達成状況】

※**重**：地域の重点取組

数値目標	基準年	実績	上段：計画／下段：実績						目標年
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7
1 生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積【ha】	36	58	49	61	66	78	82	73 (82)	73
			67	73	74	83	82	83	
2 基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数【地区】	2	2	2	2	2	2	2	3	3
			2	2	2	2	2	2	
3 ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数【箇所】	9	10	14	18	23	23	31	32	32
			14	23	23	23	30	32	
4 農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積【ha】	2,668	2,637	2,702	2,705	2,610	2,600	2,631	3,116	3,116
			2,642	2,568	2,565	2,583	2,539	2,650	

※文中の（ ）書きは翌年度への繰越、表中の（ ）書きはR6実績値がR7目標値を超えているため、R6実績値の維持を目標としたもの。

1 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

【保美地区】

- ・計画的な事業推進により 5.5 (3.0) ha の区画整理を行いました。

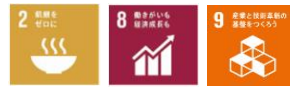


第 3 工区工事着手前



第 3 工区工事完成

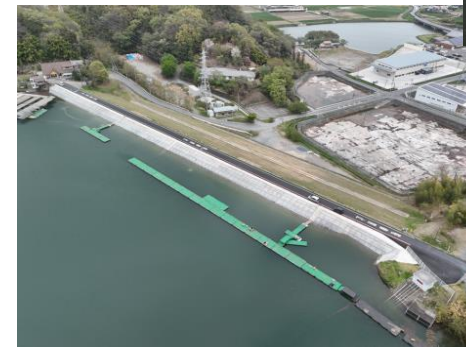
- ・区画整理や道路、用排水施設の整備により、大型機械の導入が可能となり、作業効率が大きく向上し、高収益作物の作付けが可能となりました。
- ・農業生産基盤の整備により、効率的かつ収益性の高い環境が整い新たな担い手が参入しました。この結果、地域農業が維持されるだけでなく、新たな活力により地域全体の農業が発展する基盤が構築されました。



3 安全安心な農村づくり

【大谷牛秣地区】

- ・大谷池において堤体上流側の地震対策を行いました。

大谷池
(施工前の堤体上流側の状況)大谷池
(堤体上流側の地震対策)

- ・大谷池堤体上流側の地震対策を行いました。
 - ＜堤体下流側の地震対策は、R1～2年度にかけて実施＞
 - ＜堤体上流側の地震対策は、R4～7年度にかけて実施＞
- ・牛秣貯水池堤体上流側の地震対策を開始しました。
 - ＜堤体下流側の地震対策は、R2～3年度にかけて実施＞
 - ＜堤体上流側の地震対策は、R7年度から実施＞
- ・堤体の地震対策を順次行い、地震時における人命、財産、地域の経済活動に影響する災害を未然に防止するとともに、農業用水の安定供給を図ります。

【取組内容】

- 仙之入地区【嬭恋村】において、調整池兼沈砂池の整備を進め、担い手への農地集積を推進しました。
田代湯尻地区【嬭恋村】において、幹線道路整備工事 0.48 kmを行いました。
原地区【高山村】において、区画整理工事 3.6 ha、補償調査及び文化財発掘調査資料整理、換地業務を行いました。
榛名西麓2期地区【東吾妻町】において、農道の路面補修 1.5 kmを実施し、嬭恋西部地区【嬭恋村】において、農道の路面補修等 1.0（0.2）km及び橋梁補修・補強工事 1 橋を行いました。
また、大笹地区【嬭恋村】において、農道補修等 0.14 kmを行いました。
干保2期地区【嬭恋村】において、獣害防止柵の設置について指導・助言を行いました。
- 十二平貯水池【高山村】において、耐震豪雨対策の事業化に向けた県営調査計画を実施しました。
わらび峠地区【中之条町】において、地すべりの前兆を把握するための観測業務を行いました。
- 中之条町ほか3町2村の2,986 haの農地において、農地・農業用施設の維持・保全を行う取組が円滑に実施できるよう支援しました。
東吾妻地区【東吾妻町】において、農業集落排水施設の持続可能な施設の稼働と維持管理の効率化・適正化に向け指導・助言を行いました。
- 原第2地区【高山村】において、有機農業実践農地整備構想を策定しました。

仙之入地区
【整備後の状況】榛名西麓2期地区
【改修後の状況】十二平貯水池
【県営調査計画】萩生川東集落活動組織
【東吾妻町・農地維持活動】
(鳥獣害防護柵の保守管理)

【数値目標達成状況】

※重：地域の重点取組

数値目標	基準年	実績	上段：計画／下段：実績						目標年
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7
1 生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積【ha】	139	139	141	147	171	192	189	189	189
			171	179	178	181	184	184	
2 基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数【地区】	1	1	1	2	2	2	3	3	3
			1	2	2	2	3	3	
3 ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数【箇所】	0	0	0	2	10	10	10	10	10
			0	2	10	10	10	10	
4 農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積【ha】	2,535	2,500	2,550	2,559	3,064	3,092	3,092	2,693 (2,985)	2,693
			2,488	3,064	3,042	3,044	2,985	2,986	

※文中の（ ）書きは翌年度への繰越、表中の（ ）書きはR6実績値がR7目標値を超えているため、R6実績値の維持を目標としたもの。

1 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

【仙之入、榛名西麓 2 期地区】

- ・仙之入地区で、調整池兼沈砂池 1 箇所の整備を行い、担い手への農地集積を推進しました。
- ・榛名西麓 2 期地区で農道 1.5 km の舗装補修を行い、農道の機能を保全しました。



整備後の調整池
兼沈砂池
【仙之入地区】



補修した農道
【榛名西麓 2 期地区】

- ・仙之入地区において、調整池兼沈砂池を整備したことにより、排水量の調整による溢水被害防止及び流出土砂の貯留が可能となりました。
- ・榛名西麓 2 期地区において、老朽化した舗装を補修したことにより、通作交通の走行性と安全性が向上しました。

3 安全安心な農村づくり

【わらび峠地区】

- ・わらび峠地区で、地すべりの前兆を早期把握するため、地域住民と連携した監視を行いました。



わらび峠地区全景



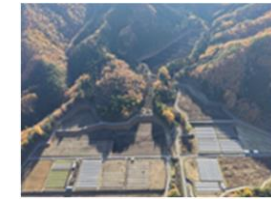
地表伸縮計設置状況

- ・毎年度、地元区長と監視協定を締結し、住民参加による地すべりの日常点検及び異常気象発生時の監視を行っています。
- ・また、地すべりの前兆を早期に把握できるように現地に設置された観測機器の更新や新設を行っています。

【取組内容】

- 1 牛の平地区【片品村】における区画整理工事の実施により、担い手へ3.1haの農地集積を行いました。
- 2 追貝平2期地区【沼田市】において、基幹農業水利施設の長寿命化対策工事に向けた県営調査を行いました。
- 3 和見堤【みなかみ町】における対策工事と、権現地区【みなかみ町】における対策工事に向けた測量設計を行いました。
- 4 沼田市ほか1町3村の4,087haの農地において、農地・農業用施設の維持・保全を行う取組を支援するとともに、沼田市において新規地区1地区の推進を行いました。
- 5 真沢、藤原【みなかみ町】、富士山【川場村】及び石墨地区【沼田市】において、棚田（畑）保全活動を支援しました。

重 赤城北ろく用水の追分地区、松之木平地区【沼田市、昭和村】において、石綿セメント管の敷設替え工事（新設）2.6（1.3）kmを行いました。



牛の平地区
【区画整理工事実施状況】



追貝平2期地区
【県営調査計画】



権現地区
【測量設計業務】



赤谷川沿岸広域協定
【みなかみ町・共同】



重 追分地区
【管路整備状況】

【数値目標達成状況】

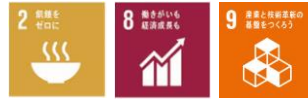
※**重**：地域の重点取組

数値目標	基準年	実績	上段：計画／下段：実績						目標年
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7
1 生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積【ha】	2	2	2	13	9	16	19	20	20
2 基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数【地区】	3	3	4	4	4	4	5	5	5
3 ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数【箇所】	2	4	28	28	28	28	28	28	28
4 農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積【ha】	3,465	3,597	3,584	3,685	3,852	3,942	4,016	3,784 (4,015)	3,784
重 石綿セメント管の敷設替え完成延長【km】	1.6	3.1	5.6	13.0	22.0	30.6	30.6	36.0	36.0
			4.3	17.2	25.5	28.8	29.7	29.7	

※文中の（ ）書きは翌年度への繰越、表中の（ ）書きはR6実績値がR7目標値を超えているため、R6実績値の維持を目標としたもの。

1 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

【牛の平地区】



- ・ 3.1 h a の区画整理工事が完成し、担い手へ 3.1 h a の農地集積を行いました。

区画整理工事实施前
(上空から)

区画整理工事实施後

牛の平地区における区画整理工事の実施状況

- ・ 県営水利施設等保全高度化事業＜畑地帯総合整備中山間地域型＞牛の平地区において、3.1 h a の区画整理工事を実施しました。
- ・ 区画整理工事により、区画拡大や農道拡幅が実施され収益性の高い大規模経営可能なほ場が完成しました。
- ・ 区画整理工事が完成したことにより、担い手へ 3.1 h a の農地集積を行い、すべての農地の効率的な利用が可能となりました。

重 安心安全な農村づくり

【松之木平地区】



- ・ 赤城北ろく用水の松之木平地区において、石綿セメント管の敷設替え工事 2.1 k m を実施しました。

新設塩化ビニル管
の布設

給水栓の布設

松之木平地区における石綿管の敷設替え状況

- ・ 県営農村地域防災減災事業（特定農業用管水路等特別対策）松之木平地区において、塩ビ管の新設工事 2.1（1.1）k m を行いました。
- ・ 石綿を含有しない管製品に敷設替えを行い、農業者等の健康保持と農業生産の安定を図りました。

【取組内容】

- 1 緑町【太田市】、五箇谷【板倉町】、城沼水路【館林市、板倉町】及び野辺地区【館林市ほか2町】において、担い手への農地集積促進に向け、区画整理工事等を実施しました。野辺地区において、田んぼダムを導入し、スマート農業（自動給水栓）の試験設置を行いました。
 - 2 藪塚台地地区【太田市、みどり市】において、基幹農業水利施設の長寿命化対策工事に着手しました。
 - 3 藪塚西部地区【太田市】において、調整池工事を行いました。押切境地区【太田市】において、排水機場等の長寿命化対策工事に着手しました。長手第1溜池及び西長岡ため池地区【太田市】において、豪雨・地震対策工事を行いました。滝之入上溜【太田市】ほか4池において、豪雨・地震並びに劣化状況の詳細調査に対する補助及び助言を行いました。
 - 4 太田市ほか3市5町の5,557haの農地において、農地・農業用施設の維持・保全の持続的な取組に向けたフォローアップ等を行いました。また、太田市ほか1市1町の7地区において、活動組織の設立を支援し、新たに取組が開始されました。中江田地区【太田市】において、農業集落排水施設の長寿命化対策に向けた事業計画策定に対する補助及び助言を行いました。
- 重 尾島東部地区【太田市】において、生産基盤整備構想や事業計画案等の検討に加え、地元の合意形成に向け、調整を行いました。

藪塚西部地区
【対策工事実施】長手第1溜池地区
【対策工事実施】五箇谷地区
【区画整理実施状況】近藤沼環境保全協議会
【館林市・資源向上活動】

【数値目標達成状況】

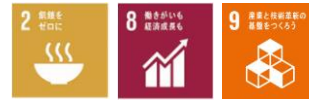
※重：地域の重点取組

数値目標	基準年	実績	上段：計画／下段：実績						目標年
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7
1 生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積【ha】	40	75	55	93	122	135	144	137 (147)	137
			90	106	129	148	147	138	
2 基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数【地区】	1	2	3	3	3	4	5	5	5
			3	3	3	4	5	5	
3 ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数【箇所】	10	19	22	22	22	24	24	26	26
			21	22	22	22	23	28	
4 農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積【ha】	4,612	4,619	4,785	4,956	5,036	5,049	5,279	5,062 (5,261)	5,062
			4,809	4,940	4,910	5,115	5,261	5,557	

※文中の（ ）書きは翌年度への繰越、表中の（ ）書きはR6実績値がR7目標値を超えているため、R6実績値の維持を目標としたもの。

1 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

【五箇谷地区】



- ・事業完了に向けて舗装工及び湧水処理工を実施しました。
- ・これまでに整備した農地を含めて担い手へ58.2haの農地集積を行いました。【集積率：56.2%】



【工事実施前】

小区画で耕作条件の悪い農地



【工事実施後】

大区画化され道水路が整備された農地

- ・舗装工や湧水処理工を実施し、事業完了に向けた地区全体の総仕上げを行いました。
- ・区画整理が完了したほ場等において、担い手への農地集積を行いました。

重 農業の収益性向上を図る生産基盤整備の推進

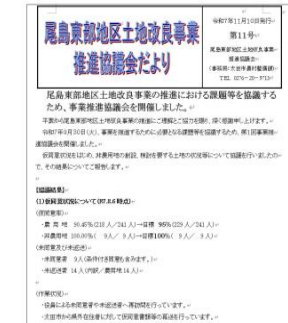
【尾島東部地区】



- ・地域農業の課題解決に向けた生産基盤整備の計画作成を進めました。【約77ha】



事業推進協議会
事業化に向けた生産基盤整備構想
の説明及び意見交換



「尾島東部地区推進協議会だより」
による合意形成の促進



ほ場整備イメージ

- ・尾島東部地区推進協議会や役員会において、整備構想や事業計画案を検討しました。
- ・「尾島東部地区推進協議会だより」を発行し、事業化に向けた合意形成を進めました。